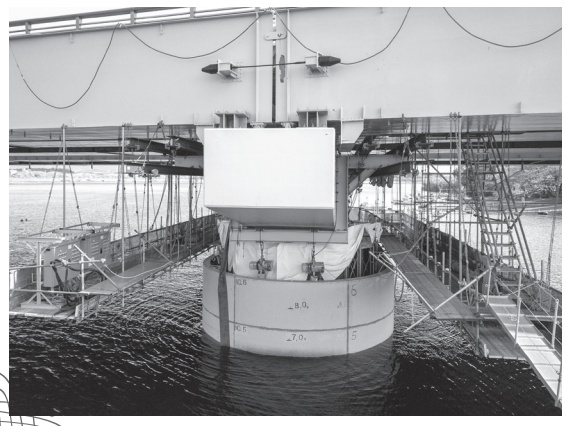
表　彰　　週刊 WORKS

工事検査室長表彰

その他工事の部

SHINSEI 新成建設株式会社



代表取締役
藤田　三吉

現場代理人
松本　明広

【発注機関】大分土木事務所　道路保全課
【工 事 名】平成 30 年度 防安地橋耐大第 6-3 号 橋梁耐震補強工事
【工事場所】大分市青崎
【工　　期】平成 30 年 9 月 20 日～令和元年 6 月 28 日
【概　　要】・橋長　L=519m
・橋脚巻立工、仮締切工（P5・P6）N＝2 橋
・掘削工　V=310.0 ㎥ (MJP)、V=1,530.0 ㎥ (BH)
V=700.0 ㎥ (起重機船)
・工　V=66.0 ㎥
・止水工　V=66.0 ㎥
・根固ブロック撤去復旧工　N=244.0 個

コメント

この度は、栄えある大分県土木建築部長表彰を賜り、大変名誉なことと深く感謝致しております。

本工事は大在大分港線で大野川の最下流部に架かる橋梁の耐震補強工事でした。河川内にある橋脚を仮設工法よる仮締切にて確実に止水を行う事が施工上の難問でしたが、安全な施工方法・手順を入念に打合せることにより、トラブルもなく完了できました。施工にあたり大分土木事務所をはじめ関係各位の皆様のご指導、ご協力をいただき無事故・無災害で完成出来ましたことを、心から厚く御礼申し上げます。

この受賞を励みとし、更なる安全管理の徹底、品質の向上を目指し、地域社会の発展に貢献できるよう邁進いたします。

海洋土木工事の部

東豊海事建設株式会社

代表取締役
森﨑　豪

現場代理人
谷川　博智

【発注機関】佐伯土木事務所
【工 事 名】令和元年度　水適管佐第 1-4 号公共水域等適正管理推進工事
【工事場所】佐伯港　佐伯市葛港　外
【工　　期】令和元年 12 月 5 日～令和 2 年 3 月 27 日
【概　　要】葛港地区　・浮桟橋　一式　・防舷材　N=3 基
・梯子　N=2 基
大入島地区・防舷材　N=12 基　・車止め　L=44m
・縁金物　L=56m
鶴谷地区　・補修工　一式

コメント

この度は、栄えある大分県土木建築部工事検査室長表彰を賜り、大変名誉なことと深く感謝申し上げます。本工事は、佐伯港　佐伯市葛港外の港施設を管理推進する工事でした。工事施工においては、船舶所有者と工程調整を密に行い、安全管理に留意しながら施工させて頂きました。工事期間中は、船舶所有者の方々にご迷惑をおかけいたしましたが、皆様のご理解を頂き無事故・無災害で工事を完成することができました。最後になりましたが、貴重なご意見やご指導を頂いた大分県佐伯土木事務所の監督職員の皆様、現場での施工に携わって頂いた協力会社の方々に感謝すると共に御礼申し上げます。この受賞を励みとし、今後もより一層の努力で技術向上と地域社会の発展に貢献してまいります。

建築工事の部

後藤建設株式会社
GOTO Construction Inc.

代表取締役
久保田　高司

現場代理人・監理技術者
佐藤　高良

【発注機関】大分土木事務所
【工 事 名】令和元年度　建大第 49-1 号　大工化学棟内部大規模 1 期工事
【工事場所】大分工業高校　大分市芳河原台
【工　　期】令和元年 8 月 10 日～令和元年 12 月 27 日
【概　　要】・鉄筋コンクリート造 2 階建
・延床面積
化学実習棟 1,077 ㎡
排水処理棟 44 ㎡
屋外便所棟 23.1 ㎡

コメント

この度は、栄えある大分県土木建築部工事検査室長表彰を賜り、大変名誉なことと深く感謝しております。

本工事は大分工業高校化学実習棟の内部大規模工事で多くの教職員及び生徒が授業をしているなかでの工事でありましたが、無事に無事故無災害で竣工できましたことは学校関係者の方々をはじめ大分土木事務所建築住宅課の皆様のご協力によるものと深く感謝しております。

今回の受賞を励みとし、さらなる技術の向上に努め、地域社会に貢献できるよう努力してまいります

舗装工事の部

“品質の高い製品を提供します”
日伸建設工業 株式会社

代表取締役
大庭　浩司

現場代理人
後藤　英之

【発注機関】別府土木事務所
【工 事 名】平成 30 年度　交付地改別　第 13-12 号　道路改良工事
【工事場所】大分県杵築市大字大内
【工　　期】平成 30 年 9 月 4 日～令和元年 8 月 29 日
【概　　要】大分空港道路(自動車専用道路)
・施工延長L=1,050m　・地盤改良工A=1,620㎡
・側溝工L=720m　・張コンクリートA=1,770㎡
・車道舗装工A=8,580㎡　・区画線工L=3,600m

コメント

この度は、栄えある大分県土木建築部工事検査室長表彰を賜り、大変名誉なことと深く感謝しております。

本工事は、大分空港道路 4 車線化のための舗装工事でした。終日交通規制及び車両通行帯の切替えがありましたので、特に一般車両への安全管理に留意しました。工事期間中は、現場からの飛石・粉塵対策等また、現場完了後の規制開放前に IC 間全線を路面清掃車にて清掃することにより、現場及び交通開放後も無事故、無災害で工事を終えることができました。

最後になりましたが、貴重なご意見やご指導を頂いた別府土木事務所の皆様、現場での施工に携わって頂いた協力会社の方々に感謝すると共に御礼申し上げます。この受賞を励みとし、今後もより一層の努力で技術向上と地域社会の発展に貢献してまいります。